

COSMO

2018年4月/5月号 | 特集1: cosmoとは? | 特集2: 4、5月の進路行事

cosmo x cosmos x miyaichi = ∞

コスモ (ラテン語: cosmo) 英語ではコズモ。宇宙を意味するラテン語接頭辞。

コスモス (英語: Cosmos) キク科コスモス属の総称。アキザクラ(秋桜)とも言う。

ミヤイチ (日本語: みやいち) 仙台市青葉区八幡にある県立高等学校。通称は

「宮一」 (みやいち) あるいは「宮城一高」 (みやぎいちこう) 旧制の高等女学校以来の伝統を持つ。

ウィキペディアより一部改変



cosmoとは、宮一生の一人ひとりが、自分の生き方、在り方をしっかり考え、それぞれの将来の目標にむかって進んでいけるよう応援する進路部からのニュースレターです。

4月,5月の主な進路行事

1年次進路講演会

《東北大学大学院 渡辺正夫教授》

以下感想抜粋

私はまだ就職することや大人になるという事についてほとんど実感がありません。でも、こうして学校で勉強している時間よりも社会に出て働き、人と接する時間のほうがはるかに多いと思いました。渡辺教授が教授、博士になるために道を選んできたように、私も自分の将来のためになる学習をしていきたいと思えます。数学を勉強するとき、私は中学の先生に「答えは1つだから」と言われて解法が1つだけではないことをあまり意識していませんでした。もっとなんか視点から物事を観察してより多くのことを吸収していきたいと思えます。

(1年女子)

2年次進路講演会

《教育未来研究会「そうぞう」

村上育朗氏》 以下感想抜粋

今日から変わる。今日から始めようということ強く心に決めました。1年前の自分と今日の自分はだいぶ違っています。でも、昨日と今日の自分は同じように感じます。明日の自分はどうか、明日の自分は今日の自分の続きに他なりません。ならば今変わらなければいけない。(中略) 1年後の自分がどうなっているか、全く想像できませんが今できること、やるべきことを精一杯やっています。合格発表を迎えたいです。

(2年女子)

村上先生のお話はやる気が出て、とてもためになりました。村上先生の、「調べることはとことん調べる、スキマ時間をうまく活用する」ということをこれからの生活で取り入れていきたいです。「自分はこのくらいだ」という限界を決めずに頑張りたいです。

(2年女子)

5月20日の総合的な学習の時間は 全校生徒対象の「社会人講演会」でした

講師として《東北電力株式会社顧問 竹内直人氏》をお招きし社会人講演会を行いました。「皆さんに伝えたいこと～東日本大震災を経験して～」という演題で、お話をいただきました。以下に今回の講演会の感想の抜粋を掲載します。素晴らしい感想が多数あり、次回も掲載します！

以前から、私は警察官に憧れていたのが警察官の実際の経験を聞くことができ学ぶことが多くありました。また、志を立てることの大切さも教えていただきました。これからの将来を決める分岐点にいる今、貴重な話を聞きました。(中略) 私は将来、人のために働ける職につきたいと考えています。といっても人のためにならない職業は無いと徐々にわかってきたように思います。だからこそ、今、私は将来どのような職につくべきなのか迷っているのが現状です。そんな中ですが今回、竹内さんの講演会を聞いたことにより自分の「志」を持って進んでいけば間違いはない、と思えるようになりました。

(3年男子)



宮一教育改革スタート！クラッシーとは？

PCやタブレット、スマホを使って教育現場で活用

できるクラウドサービス。一言で言うならば、

「学びのFACEBOOK！」

1年次での活用事例

《自宅》学習の記録、担任はPC上で即確認可！
《総合学習》自分の学びの振り返りを記録し、将来の大学入試につなげることも可能！
《アンケート集計》各種アンケートをclassi上で実施することで集計結果はすぐにわかる！

次回のCOSMOは、《進路部の担当教員紹介、社会人講演会感想の第二弾》の予定。